

## 8月の活動内容報告

### ビーバー(BVS)隊



**8/6** 公園で少し遊び、そのあとはアイスを食べました。ただ食べるのではなく、いろんな味のお菓子を混ぜて自分の好きな味のアイスにしました。チョコレートやビスケット、自分の好きな組み合わせはあったかな??



て、空き瓶にカラーサンドや貝殻を入れたり、紐を巻いたりと完成後はテーブルに並べて作品展をしました。みんなの前でタイトルと頑張ったところを発表しました。



**8/27** 体験活動を経て、新しいお友達が入隊式を行い、ビーバースカウトになりました。これでスカウトは21名になりました。公園でかくれんぼをした後は、夏休みの最後の日曜日でもあるので、「ガラスのオブジェを作ろう」として



### カブ(CS)隊



**8/6** 夏キャンプのテーマである、トレジャーハンターを目指すため、「冒険の章」という巻物に書かれた課題（国旗掲揚・降納、暗闇での探索（目隠しでのゲーム）、冒険中に歌う歌の練習など）に取り組みました。7月の集会で「技術の章」を学び、今回「冒険の章」をクリアしたカブ隊は、どんな秘密基地を作り、冒険をするのか楽しみです。

**8/27** 夏キャンプ後の活動は奉仕活動からスタート!!台東区わんぱくトライアスロン奉仕に参加しました。コースの管理と参加者の誘導を実施し、同年代の選手たちに向けて「ガンバレー」と大きな声と拍手で応援しました。とても暑い中ではありましたが、最後まで任務をやり切りました。



### ボーイ(BS)隊



**8/6** 前回の班会議の続きを行いました。今年の夏キャンプでは工作物として、調理台を作ります。炊事の時の「洗う→切る→加熱する」の流れを効率よくするにはどういう構造にしたらよいか、竹を縛って作る調理台をいかに頑丈にするか、ポリタンクの置き方（水の蛇口の高さ）までこだわりを持ち、設計を行いました。さて、キャンプ本番では、設計通りの物が出来上がるでしょうか。もう一つ会議のテーマは、「鱒料理の研究」。今回のキャンプでは、

朝霧の名産である鱒を調理します。塩焼き以外の鱒の料理で、キャンプ中にリーダー達と晩餐会を開きます。どんなメニューに決まったか（そして、本当にそれができるのか）は、キャンプでのお楽しみです。

**8/26** さくら地区が担当している「浅草サンバカーニバル」の奉仕に参加しました。スカウト達はプラカードを持ってサンバチームの先導を務めました。



**8/27** 夏のキャンプの反省と、後期の活動に向けて、スケジュールの確認を行いました。夏のキャンプについては、「キャンプを経験して自分が成長したと思ったこと」というテーマで作文を書きました。リーダーから見ても、もちろん成長を感じられたキャンプでしたが、スカウトそれぞれ自分なりに成長を実感できていたようです。

### ベンチャー(VS)隊



**8/6** 隊集會に3名のスカウトが参加しました。備品の整理を実施すると共に、夏キャンプの目標を各自設定しました。

**8/27** CS隊の台東区わんぱくトライアスロン奉仕に、デンコーチとしてFくんが参加しました。



### ローバー(RS)隊



**7/24-8/4** Nさんが日本派遣団の一員として、アイスランドで行われた第15回世界スカウトムートに参加しました。

ムートとは、4年に1回行われる、ローバー年代のジャンボリーのようなものです。89カ国5000人以上のスカウトが参加し、日本からは17名のローバースカウトが参加しました。

以下、Nさんが地区報に寄稿した報告からの抜粋です。

「前半はそれぞれのエクスペディションセンター(サブキャンプ)ごとに、アイスランドの各地でプログラムを行いました。私がいたエクスペディションセンターは、幸いにも日本人が一番多いところでしたが、トライブ(隊)、班には日本人は一人で、アジア人も少なく、英語が苦手な人はほとんどいないため、不安でいっぱいでした。班の人たちは英語が苦手な私にもすごく優しくたくさん話しかけてくれて、徐々に英語に耳が慣れていき、少しずつ班、トライブになじむことができました。プログラムはアイスランドの自然を満喫する事が多く、東京にいたら見ることのない、きれいな景色にたくさん出会えました。

後半は全てのエクスペディションセンターから1つの会場に全員が集まり、場内プログラムや交流をして過ごしました。そこはまるで何も特別感のない日常の様で、すごく不思議な空間でした。世界ジャンボリーなどとは違うローバー年代の大会だな…という実感をしました。

今まで何回か海外派遣に参加していますが、どの派遣でも複数の日本人がいる環境だったのに対して、隊で日本人が一人になるのは初めてだったので、とても貴重な体験でした。ほかの言語と違い、日本語を話すのは日本人だけで誰も通訳してくれない…ということを実感しました。とても貴重な体験をすることができてよかったです。



バングラデシュで出会った台湾の友達にお互いの旅行を含め、3回目の再会ができ、とても

うれしかったです。

今回の派遣でもたくさんの友達を作ることができ、また行きたい国、会いに行きたい人が増えました。国際交流で自分が一番楽しんでいる交換もたくさんできて、またいろいろな物を増やすことができてよかったです。

次回第16回世界スカウトムートは、4年後にアイルランドで行われます。ぜひ、あすなる地区からも多くのローバースカウトに参加してもらいたいと思います。」

**8/6** 7団ローバースカウトのS. M. さんが8団に転団しました。

**8/9-14** NさんとOくんが副長補としてボーイ隊キャンプに参加しました。

**8/26** Nさん、Oくん、Mさんがあすなる地区ローバーの定例会に参加しました。

## 8月夏季キャンプの活動内容報告

カブ(CS)隊 夏季キャンプ舎営



**8/10-13** 今年のカブ隊夏季キャンプは3泊4日で、静岡県立朝霧野外活動センターにて実施しました。11日からは小田原12団が合流し、15名のカブスカウトが集まりました。

今回のテーマは「われら、朝霧トレジャーハンター」。いくつかの試練を乗り越え、朝霧の宝物を探します。



**8/10** 中野四季の森集合後、貸切バスで移動。予定とおり「朝霧野外活動センター」に到着しました。開所式の後に活動センター内でのオリエンテーリングで広い敷地内を冒険しました。その後ボーイ隊のキャンプサイトを訪れて、おやつをいただいてテントサイトを見学しました。

**8/11** 2日目は少々雨模様。小田原12団をもてなすために昼食用に富士宮焼きそばを作りました。小田原12団が無



事に合流してみんな仲良く作った焼きそばを食べ、仲良くなりました（この時は雨が止んだ）。午後からはトレジャーハンターの秘密基地を作ります。7月集会で作成した設計図を元にダンボールや枝を使ってみんながんばって作成しました。屋内（天候が少々悪いためスケート場にて実施）のため、設計図とおりとはなりませんでしたが、立派な秘密基地ができました（作成したスカウト全員がちゃんと入れます）。



夕食後は、ナイトハイイクで夜の施設周辺を冒険しました。

**8/12** 3日目は、曇り空。外でセレモニー&入隊式を行いました。入隊式後、お宝さがし（ハイキング）に出発しました。地図を見ながら橋の下をくぐり、途中海賊?にも遭遇しながらゴールの陣馬の滝を目指しました。ゴールの陣馬の滝では、冷たい水に耐え?ながら川の中にある宝物を探しました（湧き水を含む滝で水温は年中10℃前後で非常に冷たい）。

夕食後に天候が少々怪しくなってきたため、室内で行うキャンドルファイヤーに変更しました。歌と踊り、劇で



みんな仲良く楽しみました。

**8/14** 最終日は、施設の近所にある牧場で酪農体験に行きました。においが苦手なスカウトもいましたが、乳搾りや牛舎でのエサやり・ブラッシング等を行い牛とふれあいました。

そしてバター作り体験では、牛乳から作られた新鮮な生クリームをひたすら振りまくりバターを完成させました。バターの試食用に米粉パンと



牛乳が配られ、みんなでおいしく食べました。天候にはあまりめぐまれませんでしたが、4日間元気な活動ができました。



### ボーイ(BS)隊



**8/9-14** 今年のボーイ隊夏季キャンプは5泊6日で、カブ隊と同じ静岡県富士宮市、ジャンボリーの聖地である朝霧高原で行いました。全員が全日程参加し、江東3団小田原12団ボーイ隊と合同でにぎやかに行われました。今年のテーマは「旅」。期間中いろいろな旅を体験します。





**8/9** 江東3団さんと一緒に貸切バスで移動しました。朝、中野駅集合後、電車で移動し江東3団と合流。そこからはバスで一気に朝霧高原！・・・のはずが、事故やらお盆ラッシュやらで、高速道路は大渋滞。移動に5時間もかかってしまいました。今回のキャンプはテントの設営が無いので、若干作業は楽ですが、それでも時間内に設営は完了せず、翌日まで持ち越しとなりました。

☆本日の富士山！ 富士山は見えません。

**8/10** 午前中は設営の続き。調理台づくりを中心に作業

を進めました。班会議の計画通りの形にはなりませんが、立派な物ができました。これで、旅のベースキャンプの準備が整いました。午後は、マウンテンバイクの講習会をしました。マウンテンバイクはこのキャンプ期間中の大事な移動手段なので、自転車の構造の勉強から、自分の体格に合っているか・整備不良が無いかなどの確認、安全に乗れるかの練習を行いました。夜は、江東3団との交流会を行いました。両団のローバースカウトの計画の下で、両団の夕食を持ち寄り、食べながら歓談、簡単なゲ



ームをしたりして親睦を深めました。☆本日の富士山！朝から曇り空で富士山のフの字も見えません。

**8/11** 今日のテーマは「スポーツの旅」。本栖湖まで車で移動し、

午前中はカヤック体験。本栖湖側は晴天で、青空の下でインストラクターからパドルの使い方の説明を受けた後、湖上をツーリング。対岸については崖の上から湖に飛び込んだりしました。インストラクターの方がボーイスカウト経験者で、とても親切に教えてもらいました。カヤックの後は、キャンプ場までマウンテンバイクで戻ります。途中で昼食をはさみ、約17kmの道のりを走りました。昼食は鹿カレー定食。カレー肉だけでなく付け合わせも鹿肉づくし。とてもおいしく、全員完食でした。なぜ、この場所で鹿肉が出てくるのか？野生動物の食害、人間の生活と野生動物の生活の関係など学び・考えるきっかけになればと思います。



☆本日の走行距離と富士山！ 約17km。



本栖湖上は晴れていましたが、富士山方向は曇り、本栖湖から県境を越えて朝霧高原に入った頃からは霧が立ち込め、まったく富士山は見えません。

**8/12** 今日のテーマは「グルメの旅」。夕食は「豪華料理を用意し、リーダー達にごちそうをする」という指令が出ています。7月の班会議で計画したメニューに従い、午前中はマウンテンバイクで道の駅まで移動し、野菜関係の食材調達。午後は再びマウンテンバイクで鱒の養殖場まで行き、鱒釣りを行いました。夕食メニューは鱒のホイル焼きと高原野菜のトマトスープ。事前に計画していた野菜が道の駅には売っていないなどのアクシ



デントもありましたが、何と、鱒は丸身ではなく3枚におろされていたり、レモンライスが乗っていたりとても手の込んだ料理になっており、とても美味しく出来上がっていました。味



にうるさいリーダー達も三ツ星を付けました。因みに、鱒は大量に釣れ過ぎ、リーダーはこの後の3食、鱒料理が続きました。

☆本日の走行距離と富士山！ 約 14 km。朝からずっと曇り、午後には小雨も降り、富士山は頭から尻尾まで何も見えません。

**8/13** キャンプも残り2日です。今日のテーマは「スカウトの旅」。江東3団、小田原 12 団を含めた4ヶ班で、ハイキングを行いました。ハイキングでは読図・観察・

計測などの課題が盛りだくさん。日々の活動で鍛えた技能が試されました。途中から豪雨となり、大幅に時間超過した班もあったため、全工程踏破はできず途中打ち切りとなりましたが、8団フェニックス班は、スタートから、最初の目的地の確認・ルートの確定作業まで順調にこなし（それでも、30分近くかかりました）、終始トップを独走。計測や観察の課題も順調にクリア、見事優秀班となりました。夜は3ヶ団合同のキャンプファイヤーの予定でしたが、激しい雨のため、江東3団のサイトが水没。キャンプファイヤーどころ



ではなくなったため、マッシュマロを焼きながら小田原 12 団とおしゃべりをしました。小田原 12 団のスカウトとは、カブスカウト時代に一緒に夏キャンプをした仲で、互いに何となく記憶があり、すぐに打ち解けていました。

☆本日の徒歩距離と富士山！ 約 12 km。朝からずっと曇り、午後には激しい雨、少し離れても富士山まったく見えません。

**8/14** キャンプ最終日。朝からの撤営作業です。午後から次の団体が入ってくるので、午前中にはサイトを明け渡さなければなりません。テント片付けが無いので、片付けも楽なはずですが、やはり、片



付けは苦手。調理台が頑丈過ぎて解体に苦勞したり、前日の雨で泥だらけになった備品をきれいにしなければならなかったり、時折、リーダー達に叱咤されながら、何とか撤営作業を終えました。午後には、貸切バスで一路中野に向かい、往路とは違い順調に帰宅できました。ボーイ隊に上進してから最長の5泊6日のキャンプ。スカウト達はどのような成長があったでしょうか。

☆本日の富士山！ 淡い期待も叶わず、本日も曇り。結局期間中1回も富士山のかけらも見えませんでした。



スカウトのキャンプ感想文からの抜粋

- ・いろいろな物に少しずつ慣れることができた。これは、できないときに助けてくれた仲間たちやリーダーのおかげだと思う。だから私を支えてくれた人に感謝したいと思った。
- ・今回のキャンプでいろいろなことが上達したので、これからはいろいろなことに挑戦し、悪かったことを良くしたいと思います。

- ・釣った魚を食べたことによって命をもらうありがたさを改めて気づけた
- ・評価・反省を生かして次回からは、サイトの地形を観察し、備品を置く場所を考えてサイトを作りたいです。
- ・2つのことを学びました。1つは人と協力すること、もう1つは電気やガス・水などの大切さです。 ～中略～ 普段の当たり前前の環境に感謝しようと思いました。



### ベンチャー(VS)隊



**8/8-10** カブ、ボーイ隊に先行して、ベンチャー隊夏キャンプを田貫湖キャンプ場で実施し、3名のスカウト全員が参加しました。

今年の4月より、スカウトの3人（Fくん、Tくん、Sくん）は数々のベンチャープログラムを展開し、成果をあげてきました。今回のキャンプはその集大成とし、富士の広大な自然を味わいながら、今後の活動に向けて意欲を高めることをねらいとしました。



**8/8** 直前に台風が発生し、天候が心配されましたが、集合場所である富士宮本宮浅間大社に概ね予定通り到着しました。富士の麓でキャンプを実施するに当たり、御祈禱に参加し、富士の自然に感謝の誠を捧げ、玉串を納めました。その後、キャンプ場へ移動して、設営し、点検。夕食をとって、プログラム会議を実施しました。プログラム会議では、今日の御祈禱や日頃のベンチャー活動と生活、ちかいとおきての実践について振り返り、信仰について考えました。

**8/9** この日は台風一過で、一日中晴れ。富士山がよく見えました。朝食後は、点検、朝礼、スカウトオウンサービス。今回のキャンプでは、朝と夜の点検や全てのセレモニーの運営はスカウトが実施します。自ら野営管理を完全に実施することで、自律する意識をより高めます。セレモニー後は、自由ハイキングを実施。白糸の滝を見学、田貫湖を一周するなどして、富士の自然と文化を楽しみました。



**8/10** ベンチャー隊キャンプ最終日は、カブやボーイ隊がいる朝霧野外活動センターに向けて約 14km、標高差 200m 越えの課題ハイキングを実施しました。事前の隊集会和前日夜のプログラム会議で、読図技能を復習した上で行います。撤営とセレモニーを終え、田貫湖の対岸にある田貫神社にお参りし、ハイキング出発。若干遅れは生じたものの、全ての工程を終え、道の駅朝霧高原でベンチャー隊キャンプは解散しました。



3日間、スカウトのチームワークがとても良く、安全に隊キャンプを実施することができました。後日行われました隊会議でも、自己評価やグルー

プ評価を行う際、次の活動に活かしたいという意欲が感じ取れました。下半期の彼らの取り組みに、ご期待下さい!!!

**8/10-13** ベンチャー隊のキャンプ後は、Fくんがカブ隊のデンコーチとして、Sくんがボーイ隊隊付としてキャンプ支援をしました。年少のスカウトや多くの関係者の方に対して進んで奉仕できるようになることを目標としています。また、各隊のリーダーから新たな技能を学ぶ機会にも恵まれました。



### 8月のスカウト進歩情報

BVS	M. M. さん	1年章
	H. O. さん	1年章
		小枝章 4本目
	M. S. さん	小枝章 3本目
	Y. O. くん	小枝章 2本目
	N. T. くん	小枝章 2本目
	E. S. くん	小枝章 1本目
	J. H. くん	小枝章 1本目
	Y. K. くん	小枝章 1本目
	S. O. さん	小枝章 1本目
VS	M. T. くん	炊事章、野営章





# ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

現在、カブ隊が中野7団と合同で活動していますが、ローバー隊でも動きがありました。7団ローバー隊のS. M. さんが転団し、8団のローバースカウトになりました。スケジュールの都合で転団式は少し先になりそうですが、これでローバースカウトは7名になりました。Mさんはさっそく8団のスカウトとして地区ローバーで活動しています。今後は隊長と相談の上、他のローバースカウト同様に各隊への支援参加の機会もあると思います。よろしくをお願いします。



## リーダーの活動

- 8/25 地区委員会
- 8/28 地区各種運営委員会
- 8/28 地区コミ会議



\* 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。現在、夏キャンプまでの写真がアップされています。  
<http://bsn8.world.coccan.jp/>

## スカウト互知識

### 「団の組織」

スカウトが所属する団。その一番身近で活動を支援する成人の人たちが、指導者(リーダー)であり、団委員です。言葉で説明するとややこしくなりますが、簡単に図で表すと右図のようになります。

隊の運営・スカウト達への直接的支援をするのが、隊指導者・協力者です。スカウトへの直接の教育には携わらず、団の運営や各隊への支援をするのが団委員です。団委員長は団委員間の互選で選出されます。

育成会とは団を支える母体です。宗教組織に関連する団は、教会や神社が母体となることもあります。地域団である中野8団は、スカウトの保護者と指導者が育成会員になります。その他、有志の方々(主にOB)に育成会賛助会員としてご参加いただき、毎年ご寄付をいただいています。

